

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームゆりの郷

作成日 平成29年5月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 37 38 48	今、この時を生きている利用者個々の生き生きとした表情や姿が見られるよう支援する	利用者個々の心身の活性化を図り、生き生きとした暮らしを支援する	①コミュニケーションを図る機会を多く持つ（良い笑顔、挨拶、声かけ、返事、スキンシップを意識し接する） ②個々のペースを大切に、起床、食事、休息活動等の支援をする ③活動担当を中心に、入居者個々に合ったアクティビティを取り入れる（運動を継続する、簡単な計算問題、塗り絵、パズル、歌遊び、ゲーム、季節ごとの作品づくり等） ④個別の生活歴や心身状況を把握し、持てる能力を活かした役割、楽しみごと等の支援をする（洗濯物たたみ、チリ紙折り、野菜の繕い、おやつ作り等） ⑤職員個々の取り組み状況を職員会議で発表し、次なるステップに活かしていく	平成29年度中

2	36	利用者個々に人柄や認知の症状は違う。誇りを損ねるような言葉かけや不適切なケアに留意する	利用者個々の人格を尊重した言葉かけや適切なケアを行う	①定期的に認知症や尊厳について学ぶ ②介護サービスを専門的に提供する立場であることを認識する（お世話させて頂くケア） ③個々の人柄やペースに合わせた言葉かけを行う（待つこともケアの一つである） ④不適切な言葉かけやケア、記録は職員間で注意し合う ⑤私達もいずれ通る道である。自分自身を介護される側に置き換え、どのような言葉かけや対応をしてもらいたいかを意識してみる ⑥定期的に、職員個々にケアを振り返り、職員会議で発表する	平成29年度中
3	49	車椅子を使用、意思疎通の困難な利用者は、戸外に出掛ける機会が少ない ※利用者は言葉や行動に出すことが少ない。思いを汲み取る	戸外に出掛ける機会を確保する	①行きたい場所や馴染みの場所を把握（汲み取る）し、外出を支援する ②遠出を好まない利用者は、近隣の散歩やペランダに出ることで、風を肌で感じ、木々や草花を見てもらい気分転換を図る ③初詣や花見、ピクニックなどを継続し、利用者全員で楽しめる機会をつくる	平成29年度中
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。